

資料 5－別添 1

(提案 1)

フューチャー・アースの推進に関する委員会運営要綱(平成25年6月28日日本学術会議第175回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改正後			改正前		
(略)			(略)		
(分科会)			(分科会)		
第4 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。			第4 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。		
分科会	調査審議事項	構成	分科会	調査審議事項	構成
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会	フューチャー・アース計画が提起している教育と人材育成に関連する諸課題の整理と検討、関連する研究者や研究プログラム及び教育研究機関・組織との連携、日本学術会議外のステークホルダーとの連携の進め方に関すること	20名以内の会員又は連携会員	持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会	フューチャー・アース計画が提起している教育と人材育成に関連する諸課題の整理と検討、関連する研究者や研究プログラム及び教育研究機関・組織との連携、日本学術会議外のステークホルダーとの連携の進め方に関すること	15名以内の会員又は連携会員
(略)			(略)		

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

フューチャー・アースの推進に関する委員会分科会の設置について

分科会等名：持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会

1	所属委員会名	フューチャー・アースの推進に関する委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は国際科学会議（ICSU）などが主導するフューチャー・アース（Future Earth）計画の理念に沿った研究等を推進するため、「フューチャー・アースの推進に関する委員会」を幹事会の下に設置している。この委員会が優先的かつ緊急に取り組むべき課題の一つに、持続可能な発展のための教育と人材育成（education and capacity building for sustainable development）の推進がある。本分科会はこの課題への具体的な取り組み等を検討し、持続可能な発展のための教育（初等、中等、高等教育を含む）と人材育成に関して、国内的・国際的に発信することを目的とする。
4	審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ○フューチャー・アース計画が提起している教育と人材育成に関連する諸課題の整理と検討 ○関連する研究者や研究プログラム及び教育研究機関・組織との連携 ○日本学術会議外のステークホルダーとの連携の進め方
5	設置期間	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">時限設置</div> 平成25年11月22日～平成26年9月30日 常設
6	備考	※委員の定数変更 （今後、当分科会の審議の充実を図り提言の作成準備に入るにあたり、第二部からの参画並びに初等中等教育における環境教育の実践等に精通している者及びフューチャー・アースの推進に関する国際的な趨勢に深く関与している者の参画が必要となるため、変更を行うもの）

【幹事会附置委員会】

○委員の決定（追加1件）

（フューチャー・アースの推進に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会）

氏名	所属・職名	備考	推薦
矢原 徹一	九州大学大学院理学研究院教授	連携会員	副会長

(提案2)**【機能別委員会】**

○委員の決定（新規4件）

（選考委員会 連携会員特別選考分科会）

氏名	所属・職名	備考
山川 充夫	帝京大学経済学部地域経済学科教授	第一部会員
山本 雅之	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
大西 隆	東京大学名誉教授、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授	第三部会員

（選考委員会 人文・社会科学選考分科会）

氏名	所属・職名	備考
池田 眞朗	慶應義塾大学大学院法務研究科教授・慶應義塾大学法学部教授	第一部会員
猪口 邦子	参議院議員、日本大学客員教授（国際政治学）	第一部会員
今田 高俊	東京工業大学大学院社会理工学研究科教授	第一部会員
大沢 真理	東京大学社会科学研究所教授	第一部会員
小幡 純子	上智大学大学院法学研究科教授	第一部会員
金子 元久	筑波大学大学研究センター教授	第一部会員
川本 明人	広島修道大学商学部教授	第一部会員
木村 茂光	帝京大学文学部史学科教授	第一部会員
久保 亨	信州大学人文学部教授	第一部会員
後藤 弘子	千葉大学大学院専門法務研究科教授	第一部会員
小林 良彰	慶應義塾大学法学部教授	第一部会員
佐藤 学	学習院大学文学部教授	第一部会員
白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科教授	第一部会員
白田 佳子	筑波大学大学院ビジネスサイエンス系教授	第一部会員
杉田 敦	法政大学法学部教授	第一部会員

田口 紀子	京都大学大学院文学研究科教授	第一部会員
田中 耕司	京都大学総長室特命補佐、京都大学学術研究支援室シニアリサーチアドミニストレーター（特任教授）	第一部会員
長島 弘明	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
西村 清和	國學院大学文学部教授、東京大学名誉教授	第一部会員
野家 啓一	東北大学教養教育院総長特命教授	第一部会員
樋口 美雄	慶應義塾大学商学部教授	第一部会員
松沢 哲郎	京都大学霊長類研究所教授	第一部会員
丸井 浩	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
矢野 誠	京都大学経済研究所教授	第一部会員
山川 充夫	帝京大学経済学部地域経済学科教授	第一部会員

（ 選考委員会 生命科学選考分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
小川 宣子	中部大学応用生物学部教授	第二部会員
春日 文子	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長	第二部会員
川井 秀一	京都大学大学院総合生存学館（思修館）学館長・特定教授	第二部会員
小原 雄治	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 生物遺伝資源情報研究室特任教授	第二部会員
古谷野 潔	九州大学大学院歯学研究院教授	第二部会員
清水 誠	東京大学名誉教授、東京大学大学院農学生命科学研究科・食の安全研究センター特任教授	第二部会員
生源寺眞一	名古屋大学大学院生命農学研究科教授	第二部会員
須田 年生	慶應義塾大学医学部教授	第二部会員
清木 元治	高知大学医学部附属病院次世代医療創造センター特任教授	第二部会員

戸塚 靖則	東札幌病院口腔外科部長・北海道大学名誉教授	第二部会員
中田 力	新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター長・教授	第二部会員
長野 哲雄	東京大学創薬オープンイノベーションセンター特任教授	第二部会員
那須 民江	中部大学生命健康科学部客員教授、名古屋大学名誉教授	第二部会員
西澤 直子	石川県立大学生物資源工学研究所教授	第二部会員
野口 伸	北海道大学大学院農学研究院教授	第二部会員
橋田 充	京都大学大学院薬学研究科教授	第二部会員
樋口 輝彦	国立精神・神経医療研究センター理事長・総長	第二部会員
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科教授	第二部会員
矢澤 進	京都大学名誉教授、京都学園大学バイオ環境学部特任教授	第二部会員
山本 正幸	自然科学研究機構副機構長、基礎生物学研究所所長	第二部会員
山本 雅之	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
鷺谷いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員

(選考委員会 理学・工学選考分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
相原 博昭	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員
荒川 泰彦	東京大学生産技術研究所教授	第三部会員
家 泰弘	東京大学物性研究所教授	第三部会員
石川 幹子	中央大学理工学部人間総合理工学科教授	第三部会員
石原 宏	東京工業大学名誉教授	第三部会員
伊藤 早苗	九州大学副学長、応用力学研究所教授	第三部会員
岡 眞	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員

嘉門 雅史	香川高等専門学校校長	第三部会員
川合 眞紀	理化学研究所理事、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	第三部会員
岸本喜久雄	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員
北里 洋	海洋研究開発機構海洋・極限環境生物圏領域長	第三部会員
喜連川 優	情報・システム研究機構国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授	第三部会員
木村 文彦	法政大学理工学部教授	第三部会員
楠岡 成雄	東京大学大学院数理科学研究科教授	第三部会員
栗原 和枝	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授 (多元物質科学研究所兼務)	第三部会員
小長井 誠	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員
巽 和行	名古屋大学物質科学国際研究センター特任教授	第三部会員
土井美和子	株式会社東芝研究開発センター首席技監	第三部会員
中嶋 英雄	若狭湾エネルギー研究センター所長、大阪大学名誉教授	第三部会員
永原 裕子	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員
西尾章治郎	大阪大学大学院情報科学研究科教授	第三部会員
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
保立 和夫	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
前田 正史	東京大学理事・副学長、生産技術研究所教授	第三部会員
森田 康夫	東北大学教養教育院総長特命教授	第三部会員
山地 憲治	地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事・研究所長	第三部会員
和田 章	東京工業大学名誉教授	第三部会員

(参考)

●選考委員会運営要綱 (抄)

〔平成17年10月4日
日本学術会議第1回幹事会決定〕

最終改正：平成25年10月25日日本学術会議第182回幹事会決定

(組織)

第1 選考委員会(以下「委員会」という。)は、会長、副会長及び各部の4名(うち1名は役員とする。)以内の会員をもって組織する。

(分科会)

第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。

分科会	調査審議事項	構成
連携会員特別選考分科会	平成26年9月30日に任期が満了する会員に係る連携会員候補者の選考に関すること	委員会の委員のうち、平成26年9月30日までに会員を退任する又は会員としての任期が満了する委員以外の者
人文・社会科学選考分科会	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、人文・社会科学分野に関すること	第一部の会員のうち、副会長、役員、委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長
生命科学選考分科会	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、生命科学分野に関すること	第二部の会員のうち、副会長、役員、委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長
理学・工学選考分科会	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、理学・工学分野に関すること	第三部の会員のうち、副会長、役員、委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長

(庶務)

第3 委員会の庶務は、事務局企画課において処理する。

(雑則)

第4 この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

(提案3)

国際委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後				改正前			
別表1				別表1			
分科会	調査審議事項	構成	備考	分科会	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2013分科会	(略)	(略)	(略)	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2013分科会	(略)	(略)	(略)
<u>持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2014分科会</u>	<u>持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2014を開催するために必要な企画立案及び実施準備に関すること</u>	<u>委員会の委員3名以内並びに会員又は連携会員25名以内</u>	<u>設置期間：平成26年1月31日～平成27年3月31日</u>	(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

国際委員会分科会の設置について

分科会等名：持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2014 分科会

1	所属委員会名	国際委員会				
2	委員の構成	委員会の委員 3 名以内並びに会員又は連携会員 25 名以内				
3	設置目的	本分科会は、持続可能な社会の実現に向けた地球規模の課題に対し様々な側面から議論を行い、その解決策を探るため、日本学術会議が年 1 回開催している国際会議の企画及び実施を目的とし設置する。				
4	審議事項	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2014 を開催するために必要な企画立案及び実施準備に関すること				
5	設置期間	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">時限設置</td> <td>平成 26 年 1 月 31 日～平成 27 年 3 月 31 日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">常設</td> <td></td> </tr> </table>	時限設置	平成 26 年 1 月 31 日～平成 27 年 3 月 31 日	常設	
時限設置	平成 26 年 1 月 31 日～平成 27 年 3 月 31 日					
常設						
6	備考	※新規設置				

(提案4)

分野別委員会運営要綱(平成23年9月1日日本学術会議第133回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改正後					改正前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
哲学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	哲学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	哲学委員会哲学分野の参照基準検討分科会	哲学分野における教育課程編成上の参照基準の検討に関すること	12名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成26年1月31日～平成26年9月30日		(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

哲学委員会分科会の設置について

分科会等名：哲学分野の参照基準検討分科会

1	所属委員会名	哲学委員会
2	委員の構成	12名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成24年8月に文部科学省高等教育局長から審議依頼「分野別の教育課程編成上の審議について」を受けたことから、同年12月に幹事会付置委員会「大学教育の分野別質保証委員会」を設置した。各分野の参照基準の具体的な内容については、関連する分野別委員会において審議を行うこととしたことから、哲学委員会はその審議のために、「哲学分野の参照基準検討分科会」を設置する。
4	審議事項	大学教育の分野別質保証に資するため、哲学分野の教育課程編成上の参照基準を作成するとともに、関連する諸問題を審議する。
5	設置期間	時限設置 平成26年1月31日～26年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

提案5～6は提言等関係のため別添2～3を御覧ください。

平成25年度代表派遣計画の変更

会議の派遣期間及び開催地について変更があったこと等のため、平成25年度代表派遣計画の変更を行う。

会議名称	派遣期間（会期分）	開催地（国）	派遣人員	変更内容	変更理由	備考
IAP執行委員会	2014年3月予定 ↓ 2014年5月15日～16日	未定 ↓ ローマ（イタリア）	2	平成25年度計画から削除	主催者の都合により、「IAP執行委員会及びIAC理事会等ジョイント会議」として会期が2014年5月に変更になったため、平成25年度の計画から削除する。平成26年度代表派遣会議として申請中。	国際委員会Gサイエンス及びIGSU等分科会春日委員長より変更通知
第14回インターアカデミーカウンシル（IAC）理事会	2014年3月予定 ↓ 2014年5月15日～16日	未定 ↓ ローマ（イタリア）	2	平成25年度計画から削除	主催者の都合により、「IAP執行委員会及びIAC理事会等ジョイント会議」として会期が2013年5月に変更になったため、平成25年度の計画から削除する。平成26年度代表派遣会議として申請中。	国際委員会Gサイエンス及びIGSU等分科会春日委員長より変更通知
第4回IGSU Scientific Committee Programme on Urban Health and Wellbeing	2014年1月28日～30日	パリ（フランス）	1	取りやめ	派遣者（花木啓祐第三部会員）の都合のため	第184回（H25.12.17）幹事会了承案件

平成 26 年度代表派遣に係る旅費の配分計画

I 推薦があった会議についての旅費概算	合計	31,624 千円
	内訳 第 1 区分	16,566 千円
	第 2 区分	5,616 千円
	第 3 区分	9,442 千円

II 一般代表派遣 旅費配分計画 () 内は前年度派遣計画決定時配分額

1 予 算 平成 26 年度 21,511 千円
(23,528 千円)

2 配 分

日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規（以下「国際内規」）第 17 条第 3 項により、第 1 区分に区分される会議の旅費を優先的に配分する。

- (1) 第 1 区分（加入国際学術団体等の総会【国際内規第 17 条第 1 項（1）】）
9,200 千円以内
(4,814 千円)
- (2) 第 2 区分（加入国際学術団体の運営に関するもの【国際内規第 17 条第 1 項（2）】）
4,500 千円以内
(11,050 千円)
- (3) 第 3 区分（国際委員会委員長が適当と認めるもの【国際内規第 17 条第 1 項（3）】）
7,700 千円以内
(4,385 千円)
- (4) 調整費※ 約 111 千円
(3,278 千円)

III 特別派遣 旅費配分計画

1 予 算 平成 26 年度 1,306 千円
(1,306 千円)

2 配 分

特別派遣の旅費については、国際学術協力事業に関する代表派遣として配分する。

- (1) 国際学術協力事業（国際内規第 15 条第 2 項及び第 17 条第 1 項（2）により第 2 区分に分類）
660 千円以内
(243 千円)
- (2) 調整費※ 約 646 千円
(1,063 千円)

※ 調整費は、見積額と実購入額との差額調整のほか、国際内規第 22 条により会長が国際委員会委員長と協議の上幹事会の議決を経て行われる代表派会議の追加の派遣に使用する。